

奇妙な病気は、誰もが彼を避ける作る蔵六の奇病という名前の農家約日野日出志の衝撃的な漫画。美しく、グロテスク、日野の作品は、ユニークな恐ろしいと全く壊滅的です蔵六の奇病奇病。子供たちの物語は、その物語で、このような化膿汚職や質感のアートワークを伝えたことはありません。なんて素敵なの！蔵六の奇病、物語の名ばかりのヒーローは、カラフルな絵を描くように慕うが、邪悪な村人たちは彼と彼の状態をからかいます。少し発疹が多く、とずっと悪いくらい何か、に多くに沸騰し、沸騰になっているようです。悪い蔵六の奇病」は、カラフルな化膿 "で覆われてしまうと、村人や子供たちは不思議な湖によって深い森の中に、孤独に彼を離れて駆動します。ウジが数百でそれらをはびこる、残念ながら彼のために、化膿は、塗料をカールになる臭いを放つ、と彼はひどく泥を沸騰します。私の、どのような画像の古風なグリム兄弟のおとぎ話の種類、あなたは思いませんか？しかし、ハッピーエンドがあります。まあ、おとぎ話のホラーストーリー種類の幸せ、それはです日野日出志は、あまりにも簡単に彼のグロテスクなストーリーの中に彼の本当と想像自己をブレンド本物の日野日出志が本当に住んでいる場所のようにそれを予測できない結末を作り、社会や文化との彼の不安や疑問を明らかにする

*(This document was automatically generated by Contemporary Art Library.)*